

(12) 山陽学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年 4月 8日	～	2025年 7月 28日
	後期	2025年 9月 22日	～	2026年 1月 26日
試験期間	前期	2025年 7月 29日	～	2025年 8月 4日
	後期	2026年 1月 27日	～	2026年 2月 2日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1



直行バス

JR岡山駅前
①番のりば

約20分

大学構内

始業時と終業時に
直行バスを運行しています

路線バス

JR岡山駅前
①番のりば

約10分

天満屋
バスステーション
①番のりば

約15分

山陽学園大学
短大前下車

路線バスは、日中15～20分おきに運行しています。

岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車ください。

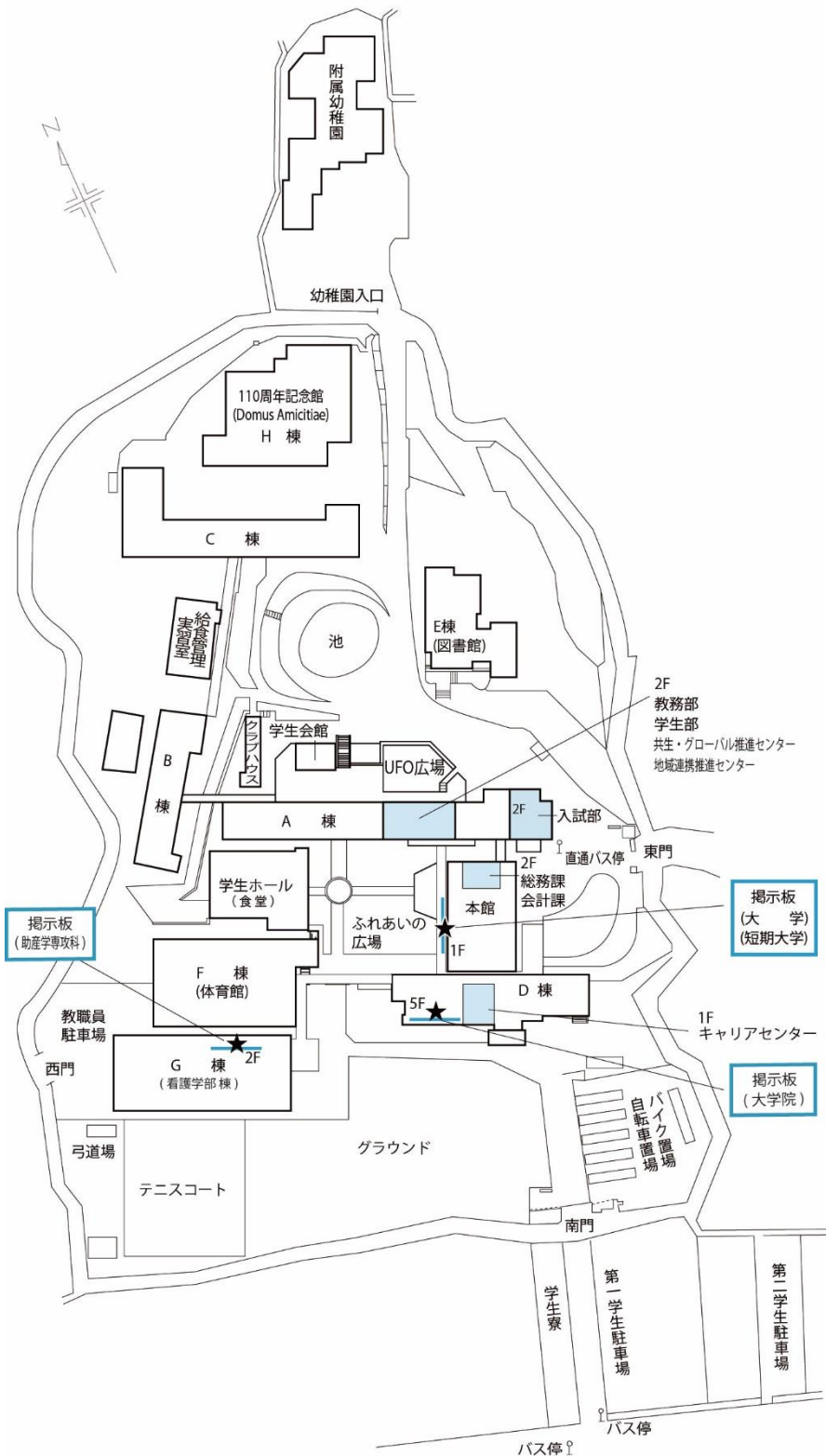
■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き

※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

③ 担当窓口

教務部教務課

所在地: A棟2階事務室



電話:

086-272-6254(代表), 086-901-0503(教務部直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

「出願方法について」の申込受付期間に記載のとおり

・履修手続

【対面授業科目を履修する方】

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。教務部窓口まで受け取りに来てください。書類の受け渡し、講義室の場所等の説明を行うため、初回は時間に余裕を持ってきてください。

- ①履修ガイド(抜粋)
- ②授業時間割表
- ③単位互換履修生証
- ④図書館利用案内
- ⑤駐車許可証(必要な方のみ)
- ⑥学年暦

・施設利用

【対面授業科目を履修する方】

山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。利用方法については窓口・受付等でお尋ねください。

・特記事項

9月集中講義の「12003 日本作家作品研究」は、履修者数により7月中旬に追加募集とすることがあります。

追加募集の有無は、各大学の担当窓口を通して本学までお問い合わせください。
(履修追加の可否については、各大学の指示に従ってください)

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.sguc.ac.jp/student/syllabus/>

・対面授業科

対面授業			12001	
授業科目名:日中関係史			担当教員氏名:班 偉	
History of Japan—China Relations				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>日中関係は近年、尖閣諸島領有権などの問題を巡って悪化と好転を繰り返してきた。この講義では、様々な日中外交問題を取り上げて解説し、それぞれの背景・経緯・双方の言い分・交渉の過程などを解説しながら、日本国家の対中戦略並びに安全保障政策などについて分析する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回:日中外交の現状と問題点 第2回:国交正常化への道程 第3回:平和友好条約の締結 第4回:冷戦終結と両国関係の悪化 第5回:歴史認識を巡る三つ巴の闘い 第6回:靖国神社参拝を巡る対立 第7回:歴史教科書検定の問題 第8回:尖閣諸島の領有権を巡る衝突 第9回:東シナ海ガス田開発の問題 第10回:「有終の美」を飾る円借款 第11回:国連安保理常任理事国入りの問題 第12回:日米中の新三国志 第13回:ロシアとの三角関係 第14回:朝鮮半島を巡る駆け引き 第15回:アジア外交で綱引き</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>高原明生 等編『日中関係史 1972－2012 政治』東京大学出版会 2012 年</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験60%、授業参加40%。</p>				

対面授業				12002
授業科目名:日本文学特講			担当教員氏名:佐藤 雅代	
Special Topics in Japanese Literature				
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 『源氏物語』の中から様々な情景を選び出し、絵画化した「源氏絵」は、物語の成立からほとんど時を経ずして生み出された。中でも、平安時代後期に成立したと推定される国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』の絵画化例として現存最古のものである。「源氏絵」によって、『源氏物語』の作品世界がどのように創造され、享受されたのか考察する。				
【授業内容】 第1回:授業のガイダンス 第2回:源氏物語と絵画 第3回:桐壺巻における絵画化の場面を読み解く 第4回:夕顔巻における絵画化の場面を読み解く 第5回:若紫巻における絵画化の場面を読み解く 第6回:末摘花巻における絵画化の場面を読み解く 第7回:葵巻における絵画化の場面を読み解く 第8回:花散里巻における絵画化の場面を読み解く 第9回:須磨巻における絵画化の場面を読み解く 第10回:明石巻における絵画化の場面を読み解く 第11回:蓬生巻における絵画化の場面を読み解く 第12回:柏木巻における絵画化の場面を読み解く 第13回:鈴虫巻における絵画化の場面を読み解く 第14回:夕霧巻における絵画化の場面を読み解く 第15回:御法巻における絵画化の場面を読み解く				
【テキスト】 テキストは使用せず、印刷教材を使用する。				
【参考図書】 『すぐわかる源氏物語の絵画』東京美術(田口榮一監修) ISBN 978-480870827 推薦図書『世界一わかりすぎる源氏物語』角川ソフィア文庫 ISBN 978-4044064181				
【成績評価の方法】 欠席6回で提出資格を失う。原則として、以下の基準で評価する。授業に取り組む姿勢30%、提出された課題70%				

対面授業			12003	
授業科目名: 日本作家作品研究			担当教員氏名: 高嶋 哲夫	
Study of Japanese Literary Writer and Work				
履修年次 2~4	2単位	9月集中	—	
<p>【授業の目的】</p> <p>◎現代における表現方法は様々です。小説、エッセイ、映像、SNS、マンガなど。また、音楽、映像、スポーツなども自己表現と考えることができます。まずは、自己紹介文。自分をアピールしてください。最高のアピールを考えましょう。</p> <p>◎作家さんは各自、自分流の書き方を持っていると思います。僕の小説の書き方、テーマ、技法などについて話します。</p> <p>◎小説が映像、マンガなどに变身していく過程と問題などについて。どこがどう変わるか。それはなぜか。実際に小説を読んだり、映画、ドラマを見て考えましょう。</p> <p>◎「吉備路文学館」を見学します。岡山にゆかりのある作家さんたちを知っていますか。学芸員の仕事などについて話してくれます。これは勉強になりますよ。</p> <p>◎一冊の本ができるまでの過程について話します。本は作家だけでなく、編集者を含めて多くの人たちの手を経て、読者に届きます。それを知ると、本をおろそかには扱えません。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回: 自己紹介・小説家の仕事について</p> <p>第2回: 小説家の仕事</p> <p>第3回: 映画と小説 ~その関係性とできあがるまで~</p> <p>第4回: 映画と小説 ~実際に映画化された小説~</p> <p>第5回: マンガと小説の関係</p> <p>第6回: 小説の書き方</p> <p>第7回: 「三部作」ができるまで</p> <p>第8回: 吉備路文学館について ~岡山の作家たち~</p> <p>第9回: 吉備路文学館について ~岡山の文学について~</p> <p>第10回: 15枚の小説</p> <p>第11回: テレビドラマと小説 ~映画との違い~</p> <p>第12回: テレビドラマと小説 ~小説との関係性~</p> <p>第13回: 好きな小説</p> <p>第14回: 何か書いてみよう</p> <p>第15回: まとめ</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>なし。</p> <p>でも、僕の本を読んでください。どの本にも、テーマがあります。頑張ってみつけてください。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>僕の書いた本、すべてです。50冊以上あります。ネットで調べてください。どれでも、一冊くらいは読んできてくれると、嬉しいです。講義終了の四日後には、もっと読んでみたいと思ってください。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>4日間、15回の集中授業です。毎回、短いレポートを書いてもらいます。</p> <p>講義最終日に、数冊の小説をテーマとしてあげますので、それについてのレポートを書いて、提出日までに提出してもらいます。それを採点します。難しいモノじゃないですよ。</p>				

対面授業			12004	
授業科目名:感情・人格心理学			担当教員氏名:松浦 美晴	
Psychology of Emotion and Personality				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれ、機能を果たしている。また、人格は、私たち一人ひとりの認知・感情・行動を特徴づけるものであり、そのとらえ方、考え方には様々なものがある。本講義では、感情・人格の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、解説してゆく。				
【授業内容】 第1回:感情の基礎 第2回:感情の生物学的基礎 第3回:感情の理論(1)古典的理論 第4回:感情の理論(2)基本的感情説と次元説 第5回:感情と行動 第6回:感情の測定 第7回:援助行動・共感性 第8回:感情の制御 第9回:エンターテインメントと感情 第10回:人格の概念 第11回:知的機能の個人差 第12回:人格の形成と変容 第13回:人格の理論 第14回:性格5因子論 第15回:人格の障害				
【テキスト】 プリントを配布する。ほかに必要があれば指示する。				
【参考図書】 濱 治世・鈴木直人・濱 保久 (2001)感情心理学への招待 サイエンス社				
【成績評価の方法】 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。				

対面授業				12005
授業科目名: 経営学概論			担当教員氏名: 西川 英臣	
Fundamentals of Management				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 経済は生産と消費から成り立っており、その中心に位置するのが企業です。経済学が経済現象について学ぶのだとすれば、経営学は経済のメインプレイヤーの一人である企業の経済活動(経営)について学びます。 たとえば、トヨタ自動車はグループで従業員数約38万人、営業収益約45兆円です(2024年3月期)。トヨタの従業者数は岡山市北区の人口(約29万人:2024年3月末)を上回り、営業収益は一国のGDPに匹敵しており、国別GDPランキングのおよそ30位程度に相当します。また、日常生活を取り巻く製品・サービスのほとんどは企業が生み出したものです。ニュースを見ると、企業やその経営に関わる報道が溢れています。企業は社会全体そして個々人の生活にまで多大な影響を及ぼす存在なのです。 本講義では、企業経営に関する基礎的な知識と現代の企業経営における課題について、幅広く学んでいきます。 授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p>【授業内容】 第1回: 経営と企業 第2回: 業界・組織の形態 第3回: 株式会社の仕組み 第4回: 企業組織の構造 第5回: 労働とマネジメント: モチベーション、終身雇用、労働三権、労使関係 第6回: 企業の経営戦略 第7回: 企業の成長: 合併買収(M&A)、経営の多角化 第8回: ものが売れる仕組み 第9回: ものを作る仕組み 第10回: 経済社会と企業経営 第11回: グローバル化と企業経営 第12回: 企業倫理 第13回: キャリアデザイン 第14回: 競争戦略の事例: サザコーヒー 第15回: まとめと現代の企業</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p>【参考図書】 『はじめの一步 経営学』守屋貴司・近藤宏一、ミネルヴァ書房、2012年。 『はじめての経営学』東洋経済新報社、2013年。 『1からの経営学 第3版』加護野忠男・吉村典久、碩学舎、2021年。</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末試験60%、復習課題40%を基本とします。 詳細については授業時に説明します。</p>				

対面授業			12006	
授業科目名: 中小企業論			担当教員氏名: 西川 英臣	
Small and Medium Enterprises				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 中小企業は、大企業と比較して知名度がないため、一見すると見劣りのする、さして重要な存在ではない様に思われがちです。しかしながら、日本の企業数の99.7%は中小企業であり、日本の従業者数の約7割が中小企業によって雇われています。このことからわかるように、日本経済において中小企業は大きな役割を担っています。 本講義では、中小企業とは何か、どのような特徴を持っているか、日本経済の中でどのような役割を果たして来たのかを学びます。加えて、地域経済や特定の業種における中小企業の現状といったトピックについても具体的な事例を使いながら、解説します。 授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p>【授業内容】 第1回: 中小企業とは何か？ 第2回: 日本の中小企業の歴史 第3回: 中小企業政策①: 政策の実施主体と1990年代以前の政策 第4回: 中小企業政策②: 1990年代以降の政策と小規模企業振興 第5回: 中小企業経営の特徴 第6回: 中小企業の労働 第7回: 中小企業金融 第8回: 下請中小企業 第9回: 中小製造企業 第10回: 中小商業 第11回: 中小企業と地域①: 地域における中小企業、中小企業と産業集積 第12回: 中小企業と地域②: 外来型開発の失敗と地方創生、地場産業と伝統的工芸品 第13回: 中小企業の事例①: 企業城下町と下請企業 第14回: 中小企業の事例②: 脱下請 第15回: まとめと現代の中小企業</p>				
<p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p>【参考図書】 『よくわかる中小企業』関智宏編著、ミネルヴァ書房、2020年 『中小企業白書』中小企業庁編、各年版</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末レポート60%、復習課題40%を基本とします。 詳細については授業時に説明します。</p>				

対面授業				12007
授業科目名: 地域マネジメント入門			担当教員氏名: 中村 聡志	
Introduction to Regional management				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 これから地域マネジメントを学ぶ学生に対し、地域に関わる基本的な諸概念を改めて検討し直し、地域住民の生活の質の維持・向上を目指して地域の諸側面の活動を活発化させること、すなわち地域活性化とは何か、それを実現するためにどのような地域の経営(マネジメント)が必要か、その全体像を示す。特に、具体的な事例検討を通じた学習(ケーススタディ)に力点を置く。</p>				
<p>【授業内容】 第1回:オリエンテーション:この講義が目指すもの、講義の進め方 第2回:地域とは何か:地域の概念 第3回:地域とは何か:地域を構成する主体 第4回:地域がかかえる問題:人口 第5回:地域活性化とは何か:地域活性化の概念 第6回:地域活性化の構造:事事例検討1-1 島根県海士町 作業 第7回:地域活性化の構造:事事例検討1-2 島根県海士町 解説 第8回:地域資源の利活用:地域資源とは何か 第9回:地域資源の利活用:事例検討1-1 岡山県備前市日生 作業 第10回:地域資源の利活用:事例検討1-2 岡山県備前市日生 解説 第11回:地域資源の利活用:事例検討2-1 岡山県真庭市 作業 第12回:地域資源の利活用:事例検討2-2 岡山県真庭市 解説 第13回:ビジネスを通じた地域活性化1:作業 第14回:ビジネスを通じた地域活性化2:解説 第15回:講義全体の振り返り:地域マネジメントとは何か</p>				
<p>【テキスト】 『地域マネジメント草書:岡山の地域づくりに学ぶ』, 白井信雄・中村聡志・松尾純廣編著, 大学教育出版 『事例に学ぶ地域づくり』, 澤俊晴・西村武司編著, 大学教育出版 その他コピー等を配布する。</p>				
<p>【参考図書】 『実践! 地方創生の経営戦略:全国32のケースに学ぶボトムアップ型地域づくり』大西達也、城戸宏史編著, 金融財政事情研究会 その他、講義の中で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 通常課題60%、期末レポート20%、講義に臨む態度20%で評価する。</p>				

対面授業			12008	
授業科目名: 観光学概論			担当教員氏名: 中村 敏	
Introduction to Tourism Studies				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>観光学の多様な広がりや、体系的に理解するための基礎的な概念について学びます。殊に地域の発展や持続可能性に貢献する産業活性化の領域での活躍を志す学生を想定し、観光マーケティングを中心にしながら観光の代表的な分野の特色について、実例を教材として取り上げつつ、基本的な考え方について整理していきます。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回: オリエンテーション—講義の進め方、観光に関わる用語の解説 第2回: 観光の構成要素—観光資源、観光地、観光市場、そして様々な事業 第3回: 観光に特有な生産物—TSA: Tourism Satellite Accountによる分類 第4回: 観光資源の類型論—世界遺産を中心に 第5回: 観光開発と観光振興—観光資源評価と利害関係者の基礎的な概念 第6回: 観光資源を創り出す—観光開発: リゾート、テーマパーク、イベント・文化 第7回: 日本の観光発展史(概略) 第8回: 旅行業—旅行業の起源と分類、現状の概略 第9回: 宿泊業—旅館やホテルの起源と分類、現状の概略 第10回: 交通業①—陸海空の役割分担: 鉄道・バス輸送、航空輸送、クルーズ 第11回: 交通業②—陸海空の役割分担: 鉄道・バス輸送、航空輸送、クルーズ 第12回: 観光政策と観光行政 第13回: 観光に関連する統計の活用と情報リテラシー 第14回: SDGsと観光の関係—マスツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ 第15回: 講義全体の振り返り</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しませんが、講義で配布されたり一緒に作成したりしてゆく資料は、専用のA4用紙バインダーを用意してファイリングし、毎回持参して内容を更新して下さい。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>学生一人一人の理解の進み具合と関心の広がりを見極めながら、随時推薦していく。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業に取り組む姿勢(20%)、毎回の小テスト(30%)、期末試験(50%)により成績評価を行う。小テストの不正行為を発見した場合は、不正行為を行った受講者の該当する回の小テストを0点とする。</p>				

対面授業				12009
授業科目名: 宇宙科学論			担当教員氏名: 米田 瑞生	
Space Science				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 地球を含む宇宙のなりたち・構造の物理学的側面を理解するだけでなく、天文学と岡山の関わり、宇宙と我々の生活の関係、天文現象を観望する手法を学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 第1回: 天体の種類・距離感 第2回: 宇宙探査の手法 第3回: 太陽, その過去・現在・未来 第4回: 太陽・地球・オーロラ・宇宙天気 第5回: 生活と宇宙(人工衛星) 第6回: 地球・その歴史と構造 第7回: 太陽系の惑星たち1:(水星, 金星, 地球, 火星) 第8回: 太陽系の惑星たち2:(木星, 土星, 天王星, 海王星) 第9回: その他の太陽系の天体 第10回: ハビタブルゾーン: 系外惑星と地球外生命 第11回: 太陽以外の恒星(超新星爆発・ブラックホールなど) 第12回: 大規模宇宙(銀河・ビッグバン) 第13回: 星座・星空の目印・星空の眺め方 第14回: 身近な天文現象とその観望方法 第15回: 岡山と宇宙</p>				
<p>【テキスト】 天文宇宙検定公式テキスト 2級 銀河博士 2023~2024年版 恒星社厚生閣 ISBN:9784769916925</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】 成績: 課題(50%)・期末試験(50%)により評価する。課題には、グループワークでの評価も含む。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

山陽学園大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな	氏名		印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - - Tel () -				

* 履修受付締切日：前期：4月4日(金)まで 後期：9月18日(木)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2~4		木 9:00~10:30		
12002	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3~4		火 13:05~14:35		
12003	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4		9月集中 9/8(月)~11(木)		
12004	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	2~4		火 13:05~14:35		
12005	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1~4		月 9:00~10:30		
12006	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1~4		月 9:00~10:30		
12007	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1~4		火 13:05~14:35		
12008	観光学概論	教養	中村 敏	2	前期	1~4		木 16:30~18:00		
12009	宇宙科学論	教養	米田 瑞生	2	後期	1~4		水 9:00~10:30		

写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚